

広報



まくべつ

わたしたちのまち

(昭和57年8月1日現在)

人口 21,277 (+6)

男 10,502 (+2)

女 10,775 (+4)

世帯数 6,302 (-2)

人のうごき(7月中)

転入 78人 死亡 8人

出生 20人 転出 84人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



57年

9

No.368

おもな内容

- 町づくり見学会に百十人が参加……………2・3
- 大丈夫ですか…あなたの防災対策……………4
- 幕別消防署で落成式……………5
- いつまでもお元気で……………6
- 清潔で潤いのある「クリーンまくべつ」めざそう7
- ぼくのお母さん わたしのお父さん④……………7
- まちのニュース……………8
- 短歌 あゆみ会(七月例会)……………9
- ふるさと館ニュース③④……………10

交通安全パレードを行いました

8月10日に札内交通安全実践会が主催し、白人音楽少年団が札内市街でパレードを行い、交通安全を訴えました。本町での交通事故死は5月17日に発生していますが、一人ひとりの注意により、事故を追放したいものです。

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111

●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

町づくり見学会に百十人が参加

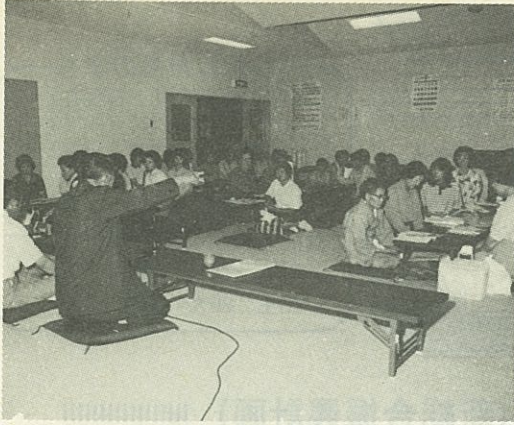
建設中および福祉関係の施設を中心に...

昭和57年度の町づくり見学会が、7月23日と24日の2日間開かれ、合わせて110人が参加し、町づくりの現状を見学しました。

この見学会は昨年から実施しているもので、町民の皆さんに町の様子を見ていただき、町づくりをより深く理解していただくというものです。

新しくなった消防庁舎など7カ所を見学したあと、大石町長を囲んで座談会も開かれました。

見学箇所を中心にお知らせしますので、参加出来なかった皆さんも、町づくりについて考えてみませんか。



大石町長を囲んで座談会

新総合振興計画である「生きる喜びを創造するまち・幕別町」をテーマに町づくりを進めています。同じ町に住みながら、私たちが生活している地域から一歩外へ出ると、わからないことがたくさんあります。そのようなことから、町づくりの現状を見ていただき、町づくりへご理解を深めていただくことと「町づくり見学会」を開いたものです。

見学会には男性十六人、女性九十四人の百十人が参加し、今年は主に建設中の施設および福祉関係の施設を見学しました。

見学コースは、消防庁舎↓下水道処理場↓明野ヶ丘公園↓豊岡ゴミ埋立地↓白人小学校↓特別養護老人ホーム↓老人福祉センター↓依田公園、ふるさと館の順でした。

勤労者の方を対象に、見学日を日曜日にも計画したところ、希望者が少なく中止したのが残念でありました。次回に開催したときは、勤労者の方も多数参加していただきたいと思います。

見学会終了後、二十三日（菅原総務部長出席）は幕別温泉ホテルの大広間で、二十四日（大石町長出席）は老人福祉センターの集客室で、座談会が開かれました。

その座談会の内容をお知らせいたします。

○燃えないゴミ収集日が月二回になっているが、祝日にあたると月一回になってしまう。私の家では燃えるゴミと燃えないゴミの袋を二種類用意しています。

○私の公区では三カ月に一回、廃品回収を行い、その益金を公区の行事に役立てています。物を大切にすることは、子供たちにとっても大切ではないでしょうか。

○ゴミを指定日以外に出している方に注意しました。皆さんもそのようなことがあった場合、勇気を持って注意してはどうでしょうか。

○子供用品など、不用になつたものの交換会を広報紙を使って実施してはどうでしょうか。

○町で一年間に、五千七百万円あまりの費用をゴミ処理に使っていることがわかりました。資源回収運動をし、ゴミを少なくすることも大切ですが、燃えるゴミの焼却炉を町であつせんしてはどうでしょうか。

凍結することはないでしょうか。

○明野ヶ丘公園は非常に広い公園であるが、トイレが少ないと思います。幕別にも、こんな素晴らしい景色の公園があるとは知りませんでした。

○公園のトイレに石やゴミなどを捨てる子供がいます。公共施設は大切にしたいものです。

○公共施設、特にトイレに塗料のスプレーでいたずら書きがしてあります。どうしたらそのようなことがなくなるのでしょうか。

○早くできた団地の舗装率が、他の団地に比較して非常に低いです。早く舗装してほしい。

○騒音公害で困っています。どこへ話したら良いでしょうか。

このほか、たくさん質問、意見がありました。その一部を掲載させていただきます。

見学した施設を簡単に紹介いたしますので、参加できなかった皆さんも「町づくり」について考えてみませんか。

○下水道は幕別市街が早く着工し、札内市街は十勝川流域下水道で、といわれているが、早く着工してほしい。

○下水道使用料はどのくらいになりますか。トイレの水洗化により、

1 消防庁舎

昭和五十六年から二カ年計画で、東十勝消防本部（幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町の広域消防）を兼ねて建築を進めていました。

新庁舎の完成を祝い、七月二十九日に落成式を行いました。

くわしいことは、本紙五ページをご覧ください。



② 公共下水道処理施設

幕別市街地区を二地区に分け、昭和五十年から進めているもので、第一期工事を鉄道から北地区、第二期工事は鉄道から南地区を対象に事業を行っています。

第一期工事の鉄北地区は、昭和五十九年四月から供用を開始する予定です。また、第二期工事の鉄南地区は、昭和五十八年から工事を始める予定ですが、工事の完成した場所から随時、供用開始の予定です。

下水道について、受益者負担金のことや、水洗トイレの改造などで、詳しく知りたい方は、建設部下水道課へお問い合わせください。

③ 明野ヶ丘公園

町開基八十年記念事業として、昭



幕別市街が一望できる明野ヶ丘公園

和五十二年から十カ年計画でスタートしたものです。

総面積は二十五畝で、ミニアスレチック、トリムコーナー、野外ステージなどがすでに完成しており、冬にはスキー場も使用できます。頂上からは、幕別市街はもとより、帯広市、十勝川温泉、池田町を見渡すことができます。家族連れの行楽、各公区の行事の時に

④ 豊岡ゴミ埋立地

利用してはいかがでしょうか。



埋まるゴミの量に驚いていました

豊岡ゴミ埋立地は、産業用廃棄物や一般家庭から出される燃えないうゴミ、大型ゴミを埋立て処理するところとして、昭和五十年に建設されました。

建設当時は、相当長い間利用できるものと思っておりましたが、ゴ

ミは使用開始とともに年々増え続け、埋まるゴミの量に、参加者も驚いていました。

豊岡ゴミ埋立地に捨てる場合、営業用は許可書が、個人で捨てに行く時は確認書が必要です。

週二回収集している燃えるゴミについては、帯広市のほか五町村環境衛生施設組合（幕別町、帯広市、芽室町、音更町、中札内村、更別村）を設け、西帯広ゴミ処理場へ運んでいます。

⑤ 白人小学校

本町には、小学校が十二校ありますが、最も老朽化の激しい白人小学校を、昨年の七月に着工し、今年の十一月に完成予定になっています。

総事業費は八億二千七百万円で、この学校の特徴は、中央に体育館があり、その周りに教室、職員室、音楽室、家庭科室、保健室などがあることです。

体育館を囲む廊下の天井は、ガラス張りになっており、直接、太



近代的な白人小学校

陽の光が入るため、大変校舎内は明るくなっています。

⑥ 特別養護老人ホーム

昭和五十四年三月に、社会福祉法人幕別真幸協会が開設したもので、この施設は、幕別温泉の温泉水を利用して、寝たきり老人の入浴施設ももっています。

開設当初は、定員五十人で始めましたが、その後、増築を行い、現在の定員は九十人で、本町から半数以上のお年寄が入っています。

⑦ 老人福祉センター

今年の三月に、九千九百八十五万円をかけて完成しました。老人福祉センターができる以前には、お年寄は町の福祉バスで、幕別温泉へ行っていました。このセンターが完成したことによって、より多くの方が楽しくゆったりと過ごせることと思います。

施設には、百二十人入れる舞台付の広間、温泉水を利用した浴室、図書室、囲碁・将棋のできる教養娯楽室、頭痛・不眠症・肩こりなどに効果のある、高圧電界保健装置ヘルストロンがあります。また、陶器の作業場があるほか、屋外にはゲートボール場があり、センターで用具をそろえています。

センターの使用料は無料で、原則として、六十五歳以上の方が、日曜日、祝日を除いて利用することができます。

町づくり見学会に参加して



緑町21 井上 昌子さん

町づくり見学会に参加する機会に恵まれ、親子三代（姑・嫁・孫）一緒に、それぞれの思いで参加しました。どこまでも続く

舗装道路、昔はなかった下水道処理場、また、新しい白人小学校、老人福祉センターなどを見学しましたが、教育施設の素晴らしさと福祉の充実には目を見張るものがありました。

ゴミの処理問題については、多額の経費がかかること。各家庭で焼却できるゴミは焼却することを考えてはいかがでしょうか。

町全体としては、随分施設も整ったと思いますが、やや文化面の遅れと、街の中心の木陰に腰を

下ろしてくつろげる憩いの場が欲しいものです。

一緒に参加した姑は、七十九年間この町に住んでおりますが見学会で「新しい幕別を発見した」と大変喜んでおります。

この素晴らしい企画をさらに続け、一人でも多くの方が各施設を理解し、税金の使い道を知ることが大切だと思えました。

町民の皆さんが協力し合っこそ、より良い幕別町ができるものだと感じています。

大丈夫ですか……

あなたの防災対策

八月三十日から九月五日までは、防災週間です。

秋は台風シーズンでもあり、各地で毎年のように、台風による大きな被害が出ています。また、道東地方は地震の巣といわれるほど、地震の多発地帯で、過去に数多くの地震が発生しています。

天災は忘れたころにやってくる——いつ襲ってくるかわからない災害に備えて、被害を最小限に食い止めるよう、みんな考えましょう。

台風・大雨に備えて

今年も、集中豪雨や台風シーズンがやってきました。昨年の災害を教訓に、次のことを守って被害に遭わないようにしましょう。

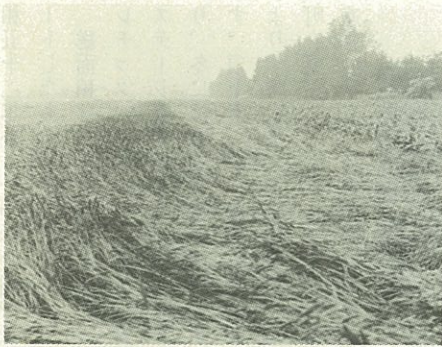
●台風、大雨に備えて、自分の家のまわりは大丈夫か、危ないところはないか、確かめておきましょう。

●台風、低気圧が近づいてきたら、ラジオ、テレビなどの気象情報や防災の注意事項を聞くようにし、注意報、警報には十分注意しましょう。

●台風や大雨による被害は、あつという間に起きて、多くの人命が失われています。危いと思ったら、

いち早く安全な場所に避難することが大切です。

●屋根がいたんだり、排水溝がつまっていたりすると、わずかな雨で思わぬ被害を受けやすくなります。いたんだところは早めに補修しておきましょう。



雨と風で倒れた小麦畑 (昨年の台風12号)

大地震が発生したら

●停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオの用意をしましょう。

もし、震度5程度の地震が起こった場合、人は立って歩くことが難しく、はわなければ動けないような状態ですから、地震が発生してからでは、ほとんど何もできません。

地震の発生そのものを防ぐことはできないにしても、私たち一人ひとりが地震に備えることによって、被害を最小限に食い止めることは可能です。

◎大地震に備えて

〈安全な場所の確認〉

地震が発生したときに、とりあえず身を置く場所を確認しておきましょう。

〈家具等の倒壊防止〉

家具などの固定具の点検と、高いところに置いてある重いものやガラス製品は安全な場所へ移しましょう。また、ストープやブロックべいなどの転倒防止も必ずしましょう。

◎地震の発生時には

〈まずわが身を守れ〉

丈夫な家具などに身を寄せて、しばらく様子を見ることが大切です。〈すばやく火の始末〉

過去の例から大地震で怖いのは火災。地震を感じたら、すばやく火の始末をしましょう。

〈危険な場所は避ける〉

狭い路地、がけの付近、ブロックべいのそばなど、危険な場所にいるときは急いで離れましょう。

今年の三月二十一日に発生した浦河沖地震では、浦河町で本道初の震度6(烈震)の地震を記録しました。

浦河町の町民がこの地震の時、どのように行動し、どのように対応したか、アンケート結果が出ていますので、今後の地震対策に役立てましょう。

このことは、地震の多い地域ということから、町民の防災意識がかなり高かったためといわれています。

浦河町の町民がこの地震の時、どのように行動し、どのように対応したか、アンケート結果が出ていますので、今後の地震対策に役立てましょう。

質問一 ストープの使用状況

ストープは九五%の家庭で使用していました。

ストープの転倒(九件)があったのにもかかわらず、火災に至らなかったのは、暖気であったので微少燃焼で使用されていたのと、冷静で適切な消火方法がとられたこと

とによって、火災が発生しなかったものと思われま。

質問二 ストープの消火

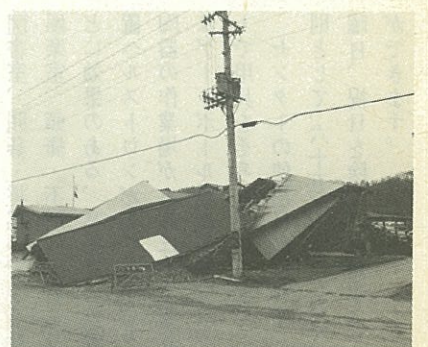
ストープをすぐ消さなかった世帯が二〇%あることから、火災防止のため、すぐ消すよう徹底しなくてはなりません。

なお、今回の烈震でも、耐震装置が作動しなかった世帯が四・四%あったので、今後耐震装置は消火する場合の補助的手段の一つであつて、自分で消す心構えを町民に周知する必要があります。

質問三 地震時の住民の行動

地震時にそのままの場にいた人六六・七%、机等の下に身を隠していた人一一・九%で、約八〇%の人が家の中にいたと答えています。外にすぐ出たと答えた人が約二〇%となっています。

このことから、地震がおさまるまで、丈夫な家具等に身を隠すこと、外にすぐ飛び出さないことを更に周知していきたいものです。



チップ工場資材置場の倒壊 (浦河町)



幕別消防署で落成式

手狭解消、設備も近代化

町民の皆さんの生命と財産を守る幕別消防署が、昨年の七月から新築工事を進めていきましたが、このほど完成、七月二十九日に二百六十人が参列し、新築落成式が庁舎二階の講堂で行われました。

旧消防署の時は、車両の一括格納ができなく、庁舎外に分散配置をしていました。緊急出動時には、変則的な五差路に面していたことにより、一般車両の妨害など、不便と不安がありました。新築により一挙に解消されました。

新しい庁舎の建設場所は、町立わかば幼稚園の東側（錦町九十番地）で、総事業費三億三千三百五十三万円、鉄筋コンクリート造り二階建て一千九百六十五平方メートルです。

一階は八百四十三平方メートルで、車両が十二台入る格納庫を中心に、署事務室、待機室、仮眠室、通信室、浴室などが設けられています。二階は八百五十九平方メートルで、

東十勝消防事務組合本部（幕別町・池田町・豊頃町・浦幌町）の事務室、研修室、講堂、団長室、消防長室、会議室、機械室などがあります。

特殊装置として、一斉指令装置、無線式個別呼出し装置、災害自動案内装置、救急病院自動ダイヤル装置、車庫内強制排気装置、電動ホース掛装置、救助訓練塔、十馬力



近代的設備の新庁舎

モーターサイレン、厳寒期に備えて車庫の暖房を設けるなど、近代的な設備に変わりました。

○旧消防庁舎の利用は

旧消防庁舎は、昭和三十六年に総事業費一千万円をかけたもので、三十七年六月に完成したものです。消防自動車五台を格納できる車庫を有し、当時としては、最も充実した庁舎でした。

建物の規模は、鉄筋コンクリート二階建て五百十二平方メートルの利用については、今年一千八百万円をかけて改築され、再利用されます。

一階の二百四十二平方メートルは、老人憩いの家、一般町民の方に利用していただく和室で、二階の二百七十平方メートルは幕別地区労働組合協議会、森林組合、消費者相談室及び展示室に模様変えとなります。なお、完成は九月末の予定になっています。

健康カルテ

17

減塩作戦

減塩作戦の実例

◎割り醤油を上手に使って
減塩のポイントは、醤油、みそ、塩の三大調味料と、漬け物の取り方にあります。

あなたの家庭では、一匙の醤油を何日間で消費しますか。これを使い切るのに要した日数と家族数、一匙中に含まれる食塩量から、一日一人当たりの醤油から取る、食塩の量を自分で計算することができます。

醤油の減らし方で、最も簡単な方法は、割り醤油です。こ

んぶやかつお節などの天然調味料を濃い目に煮だして、だし汁を作り、このだし汁と醤油を混ぜれば、だし割り醤油のできあがりです。最初はだし汁一から二、醤油八から九の割合の割り醤油を、醤油と同じようにそのまま使うわけ

です。そして、この味に慣れたら、また少し薄めるなど、あ

せらず段階的に取り組みましよう。

また、酢醤油やレモン醤油などを使い分けることも大切です。

（割り醤油は、冷蔵庫に保存すると、一カ月位は大丈夫です）

◎薄味でもおいしいみそ汁

私たちが毎日のように飲んでいるみそ汁の食塩濃度は、普通一％から一・五％程度ですから、お椀一杯のみそ汁には、一・五勺から二・五勺の食塩が含まれているのが普通です。一日に三杯のみそ汁を飲むと、五勺から七勺もの食塩のみそ汁だけで取ることになるので、みそ汁の取り方の工夫も大切です。

①煮干しやかつお節、こんぶ削り節など、天然調味料を用いて、だし汁を上手に取りましよう。

②みそ汁の実にも配慮し、実から出た味とみそとを調和させて、みその使う量を減らしましよう。

③甘みそは辛みそよりも食塩の量が少ないので、できれば甘みそを使いましよう。

健康管理は正しい

食生活から

（町保健婦・武田ヨネ子）

幕別町・長寿番付 (S 57. 8. 1 現在)

東 方				西 方			
位置	氏 名	年 齢	住 所	位置	氏 名	年 齢	住 所
横綱	早乙女キヨ	100	相 川	横綱	和田 リン	95	依 田
大関	中田 のい	94	中 祿 内	大関	佐々木 孚	94	札内あかしや町
関脇	渋谷 ノブ	93	札内桂町	関脇	長屋志やう	93	宝 町
小結	佐藤 ミキ	92	中 里	小結	日光 キヨ	92	依 田
前頭	井川 なみ	92	旭 町	前頭	堀川 保	92	宝 町
同二	岡田 義一	91	札内春日町	同二	山口 ちゑ	91	古 舞
同三	小林 貞子	90	依 田	同三	前田 うの	90	札内中央町
同四	大岡 くま	90	古 舞	同四	時田 たつ	90	西 和
同五	二川 ヤイ	90	幸 町	同五	柴田幸太郎	90	途 別
同六	梅田 ヨ子	90	札内あかしや町	同六	松原 はる	90	依 田
同七	土田 シケ	90	寿 町	同七	磯部 なみ	90	千 住
同八	長谷川志げを	90	依 田	同八	真鍋コマサ	89	緑 町
同九	古酒 イシ	89	新 町	同九	浅川きみよ	89	依 田
同十	高田与次郎	89	依 田	同十	北川長之助	89	千 住

(同年令は生年月日による)

いつまでも お元気で

—65歳以上は2,111人に—

本町の六十五歳以上のお年寄り
は二千百十一人います。これは総
人口の九・九%で、昨年よりも二
百四十七人増え、年々、高齢化社
会へ向かっているといえます。
また、全国的にも同じ傾向にあ
つて、三十三年後の昭和九十年に
は、二〇%を超えると予想されて
います。
よく言われる高齢者問題とい
うのは、なにもお年寄りだけの問題
ではなく、若い人たちもやがて直
面しなければならぬテーマであ
り、そして、社会全体の課題でも
あるといえます。
九月十五日は「敬老の日」また、
十五日から一週間は「老人福祉週
間」です。この機会に、お年寄り

の幸せについて、家族皆さんで考
えてみるのも大切なことではない
でしょうか。

「敬老の日」を迎え、敬老会が九
月十六日・幕別町民会館で、十七



川口 菊井さん
(札内あかしや町)



金武仙五郎さん
(新 和)



加藤はるよさん
(札内若草町)



岩井 夕力さん
(中 里)



池上 次作さん
(緑 町)



富田耕治郎さん
(札内中央町)



谷友小きんさん
(日 新)



杉山 満作さん
(札内あかしや町)



坂 伊十郎さん
(依 田)



工藤 武司さん
(札内西町)

日・札内福祉センター、十八日・緑
内公民館で、それぞれ開催されま
す。
今年、該当(七十五歳以上の皆
さん全員)される方は、昨年より



吉田とよのさん
(錦 町)



山崎 ちヨさん
(札内あかしや町)



森田金太郎さん
(緑 町)



西川勇次郎さん
(五 位)



長尾 ナミさん
(札内青葉町)

五十人多い七百十一人いらっしゃ
います。
また、今年、八十八歳の米寿を
迎えられた方は、次の十五人の皆
さんです。



清潔で潤いのある

「グリーンまぐべつ」めざそう

町および町衛生会では、冬を迎える前に、道路、公園、空き地等に散在するゴミ、空き缶、雑草を一掃することを目的として、秋の清掃日を決め、地域住民参加のもと、「グリーンまぐべつ」運動を展開することになりました。

この運動は、地域住民が自らの手によって、清潔なまちづくりの輪を広げ、単に散乱するゴミを拾い合うだけでなく、自らの問題を自主的に解決しようとする、地域社会連帯の意味から実施するものです。

清潔で住みよい環境づくりのため、皆さん一人ひとりの参加、ご

協力をよろしく願います。

●一斉清掃日——十月三日(月)——

ますので、ご協力をお願い致します。

月中を清掃の強調月間とします)

●清掃場所等

——各公区ごとに場所、時間等連絡し

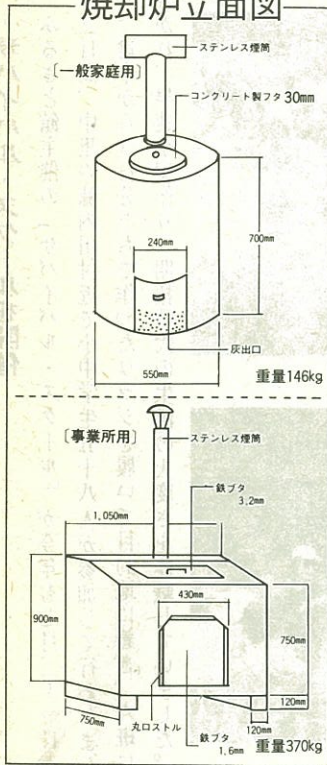
ゴミ減量運動に協力を！ ゴミ焼却炉のあっせんをします

法は、後日、各公区(班内)単位

町衛生会(会長・大上長治)では、家庭および事業所における、ゴミ減量運動の一環として、ゴミ焼却炉をあっせんすることにしました。あっせんする焼却炉は優良品で、かつ割安で購入できます。役場本庁、札内支所、糠内出張所に置いてある見本品を見ていただき、申し込みをお願いします。

●あっせん価格は一般家庭用が九千三百円(台は千円で希望者別売)事業所用は二万八千五百円となっています。

焼却炉立面図



お母さんは、時々「こわくて、もう仕事もいやになってきたな」というけど、もっと長続きしてほしいなと思います。

お父さんは、好ききらいがとも多いです。でも、レタス、なすび、きゅうりは、少し食べられるようになりました。これからは、好ききらいをなくして、元気がいっぱいほしいと思います。



お母さん



幕別小学校(5年) 内野 一也君

ぼくのお母さん④ わたしのお父さん



お父さん



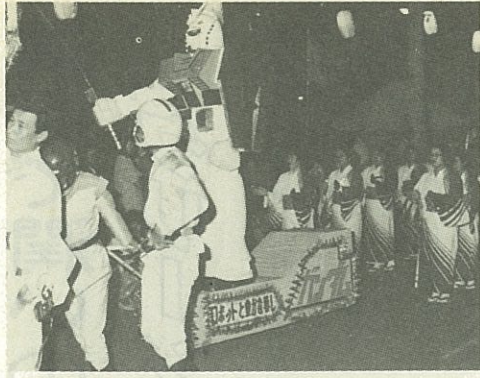
幕別小学校(5年) 石川 百子さん

ぼくのお母さんは、乳酸菌飲料の配達をしています。六時半ごろ、乳酸菌飲料のかばんを重たそうに持って、家を出ていきます。五十個以上も入っているの、ぼくには重くて持てません。九時半ごろ、お母さんは暑そうに家へ帰ってきます。朝食を食べると、つかれているのか、いすの上に、すぐねてしまいます。十一時ごろ、二回目の配達のため、お母さんは、かばんに乳酸菌飲料を入れます。その時ばかりは、乳酸菌飲料をふくろにつめる仕事の手つだいをします。

お父さんは、会社で会計の仕事をして二十七年間もしています。それで、中指には、大きなベンダコができています。新田の森を通る時「この木は、アイスキャンデーのぼうになるし、あの木は、野球のバットになるよ」など、いろいろ教えてくださいました。お父さんの好きなテレビは、連想ゲームや面白ゼミナルなどです。七時のニュースの時は、絶対チャンネルをゆずってください。水害や原ばくのおそろしさなども教えてくれます。



まちのニュース



・盆おどり仮装大会を開催

幕別地区が十五日、札内地区が十五、十六日に盆おどり仮装大会を開催し、幕別地区は団体が葉山電器チーム、個人は藤田幸子さんが優勝。札内地区は団体が特別養護老人ホーム、個人は矢野ふじえさんが優勝しました。



・サバイバル・スクールを開催

ふるさと館主催の「サバイバル・スクール」が今年も七月三十一日から三日間、中里の糠内川付近で小中学生五十八人が参加して行われました。途中からは自分たちで作ったワラジを履いて目的地に着き、六班に分かれ、早速小屋作り。開拓時代の生活の大変さを体験していました。



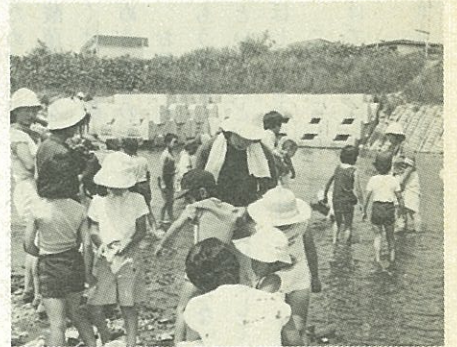
・消防署で人命救助訓練

完成したばかりの消防庁舎西側で、災害発生時に備えて、命綱を着け、十五メートルのロープを腕力だけで上る人命救助訓練を行いました。



・泉町こぐまクラブで川狩

交通防犯活動のひとつである、こぐまクラブでは、途別川の河原で川狩をし、その後、交通安全の勉強を行いました。



・青葉町公区で

オアシス運動

社会を明るくする運動にちなんで「オ」はおはよう「ア」はありがとう「シ」は失礼しました「ス」はすみませんと書いて、三カ所に設置し、実行しています。



ストップ・ザ・交通事故

- 3 -



札内青葉町185
斉藤 京子さん

安全は

一人ひとりの心から

登下校時でさえ通学路を猛スピードで走る車横断旗を出して子どもたちを渡そうとしている時でも徐行しない車、本心にハッとします。交通事故の報道によれば、原因はスピードオーバー、無理な追い越し等の交通ルール無視や違反がほとんどです。これほど原因がはつきりしているのに、なぜ事故が少なくならないのでしょうか。それは、先を急いで無理をすることと「自分は大丈夫」という過信が遠因となっているからだと思えます。

いつ、どこで事故になるかわからないので、譲り合い、そしてルールを守る心を一人ひとりがもつことは大切です。地域や職場ごとに映画や講演を催し、事故の恐ろしさを訴えていくのも、安全意識を高める一つだと思います。

十勝大会で初優勝の札中野球部と 最多入賞の札中陸上部

全十勝中学校野球大会が帯広市営球場において、七月二十三日、二十四日、二十五日の三日間行われました。

その結果、札中中学校野球部が、念願の初優勝を果たしました。大会結果は次のとおり。

●準決勝 対帯第六中 1-0
●決勝 対芽室中 2X-0
また、七月十一日に帯広緑ヶ丘陸上競技場では、第十三回北海道中学校陸上競技大会・十勝予選会が開かれました。

大会成績は次のとおり。

●一年百歳 一位・沢田敦(札中) 二位・若月啓良(幕中) ●三年百歳 一位・豊吉勝也(札中) 二位・高橋孝広(札中) ●共通二百歳 一位・豊吉勝也(札中) ●共通百歳以上障害 二位・高橋孝広(札中) ●八百歳リレー 一位・札中(薄井、高橋、石野、豊吉) ●共通三種B 一位・吉田敏和(糠中) ●一年百歳 二位・田村陽子(札中) ●共通百歳以上障害 二位・坂本



町長に報告に来た札中の野球部と陸上部

短歌 あゆみ会 七月例会

消防の落成祝うとこの朝街に村にとサイレン告げる

高木さわ子

ビート移植終へし息子は丹念に農機を洗ふ鼻歌まじりに

鎌田あさの

過剰ゆえ取捨てられし玉レタス白々として雨に打たるる

妹尾 道子

農協の整備工場建つらしく地抗打つ音街に響くも

坂東 美世

友よりのきばな石楠花植えたりき幾年のちに花の咲けるや

小山 利子

恵美(札中) ●共通走り幅跳び一位・金尾由美子(札中) ●共通砲丸投げ 二位・川村ひとみ(幕中) ●四百歳リレー 二位・札中(坂本、金尾、石川、金田)

幕別町商工会が優勝

商工会十勝支部野球大会

第十六回北海道商工会連合会十勝支部青年部野球大会が、八月一日、二日の二日間、芽室町を会場に十六チームが出場して行われました。大会結果は次のとおり。

●準決勝 対忠類村 8-7
●決勝 対広尾町 6-2

札内泉町が優勝

町内男子ソフトボール大会

第六回男子ソフトボール選手権

寄付者のお名前

町へ……

▽矢嶋利勝さん(札内新北町)から札内北小学校の環境整備にと十万円

■町社会福祉協議会へ……

▽松田忠信さん(明倫)から父が生前お世話になりましたと五万円

▽早瀬良一さん(札内桜町)から父が生前お世話になりましたと二万円

▽石塚登喜男さん(軍岡)から母が生前お世話になりましたと三万円

▽田村みどりさん(札内春日町)から夫が生前お世話になり

大会が、七月二十五日に幕別小学校グラウンドで、十四チーム・百七十四人が参加して行われました。その結果優勝は札内泉町、準優勝は駒島公区Bでした。

なお、札内泉町は昨年の優勝に続き二連覇です。

子供会ソフトボール大会を開催

地区子供会ソフトボール大会が、八月一日に中央地区(幕小グラウンド) 南幕地区(糠小グラウンド)で、八月八日に西幕地区(札内南小・札中グラウンド)でそれぞれ行われました。

大会結果は次のとおり。

●中央地区 優勝・宝町子供会、準優勝・錦町子供会 ●南幕地区 優勝・駒島子供会、準優勝・古舞子供会 ●西幕地区 小学生の部

ましたと五万円

▽幕別農協婦人部から六千九百十円

▽中村由雄さん(途別)から母が生前お世話になりましたと五万円

▽鈴木美保子さん(札内泉町)から三万円

▽横山ハルイさん(途別)から二万円

■老人クラブへ……

▽山角保さん(札内若草町)から札内鉄南老人クラブへ三万円

▽八田正さん(南勢)から幕別老人クラブへ三万円

▽岩井タカさん(中里)から糠内老友会へ五万円

▽石塚登喜男さん(軍岡)から軍岡老人クラブへ二万円

▽中村由雄さん(途別)から途別長寿会へ五万円



西幕地区の小学生の部

笹井茂野さんから 百万円の寄付

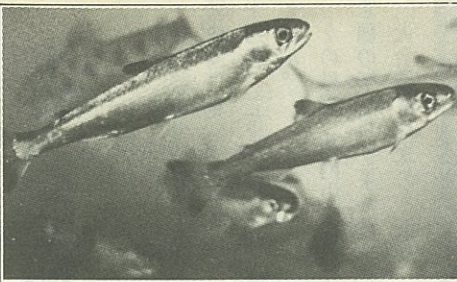
笹井茂野さん(錦町)から夫・四郎さんが生前大変お世話になったお札に、商工業振興に役立ててほしいと、町へ百万円の寄付がありました。



大石町長に手渡す笹井茂野さん

幕別町ふるさと館

089-05 幕別町字依田384-3 ☎(01555) 6-3117
AM 9 : 30 → PM 6 : 00 毎週火曜日休館



サーモン通信②③

9月下旬、ジャンボ水槽に親ザケを入れま
す。昨年12月に生まれた稚魚と幕別の丘の上
で対面の予定。がんばれサーモン!

さかなよもやまばなし
魚 四方山話
岩 魚



SATOH.
ふるさと館
プランナー

佐藤正弘

イワナ(岩魚)ニシン目サケ科
イワナ属

わが国に分布するイワナ属はア
メマスとオシヨロコマの陸封型の
二種だが、地域により多くの変種
があり、その呼び名も色々である。
北海道だけでもカラフトイワナ、エ
ゾイワナ、ミヤベイワナがある。

アメマスは東北以北では海にく
だるが、南では河川の最上流部に
とどまりイワナと呼ばれる。オシ
ヨロコマは樺太以北では降海する
のが多いが、わが国にはその例は
ない。道東・道北の河川最上流域
にとどまりやはりイワナと呼ばれ
る。

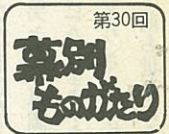
イワナはサケ科の中でも特に冷
水を好み、「岩魚」と書くように
岩の下などに好んでひそむ。体色
は背部が青みがかった褐色をし、
側線に沿って白や朱の斑点が不規
則に点在する。幼魚は他のサケ科
と同じくパールマークがある。体
型は細長い最大八十センチにも達す
る。性質はきわめてどん欲で蛾や
蝶はもちろん、ときにはへビやネ

ズミまでも食べる。エサの食い方
はヤマベが瞬間的なのに対し、イ
ワナはエサをくわえてから安全な
場所まで移動して食う。

北海道のアメマスの場合、普通
の状態では三年目、成長の早いも
ので二年目の春に相当数のものが
銀毛化して下流に下り六月下旬に
海に入る。銀毛化現象はヤマベと
同じく背ビレ、尾ビレが黒くなる。

しかし海に入っても魚体の斑点は
消えず、イワナとの明確な区別を
しにくくしている。生息河川は広
尾川、楽古川、豊似川、雁舟川、札
内川など十勝南部である。

オシヨロコマは然別湖の代名詞
でもある。同湖で湖水生活をして
いるが、その主群は海の魚のよう
に銀白色で、表層を回遊している。
本質的には降海型のイワナである。
産卵期にはサケと同じように母な
る川・ヤンベツ川へ朝上する。現
在は人工採卵も行なわれているが、
禁漁である。北海道天然記念物で
もあるオシヨロコマの解禁を心待
ちにしている釣人も多いことだろう。



「三の小屋」と言われ、三番目に設
けられた飯場(囚人小屋)小屋の
跡である。

今回は棚助氏の息子・健治郎
さんをたずねました。
「昔の話、もう忘れてしまった」
となかなかかつ
たよ」

「おれは長男だ
つたから、赤ん
坊のめんどうや
畑の手伝いでつ
らい思い出が多いなあ」

「学校のこと? おやじの代で学校
を建て、おれの代で発展し、息子
の代で失くしてしまつたなあ。昔
の話によくあるでしょう。父親が
財を作つて息子がそれを受け継い
で孫で財産をつぶす。あれと同じ
になつてしまつたね。ハハハ…」
「そうだ。新川の事を解るのは、わ
しより古い人がいないものなあ」

教室のまん中
に炉

思い出の学校⑥
新川小学校

明治二十九年、
十勝四治監の囚
人によつて開か
れた現在の国道
三十八号線の新
川付近はその昔
「三の小屋」と言われ、三番目に設
けられた飯場(囚人小屋)小屋の
跡である。
今回は棚助氏の息子・健治郎
さんをたずねました。
「昔の話、もう忘れてしまった」
となかなかかつ
たよ」

「あの学校ができたのは、わしが
尋常小学校三年生の時だった。わ
しは現在の統内の学校に行つてい
たが、学校は遠いし冬は道が悪い
のでよく休んだ」
明治三十九年頃、三浦等六、棚
助、浅野新造の三氏が来住した。
この頃、十勝平野は見わたす限
りカシワの樹海だった。カシワの
樹皮からタンニン抽出し、帯皮
のなめし材料として利用されはじ
めた。ここ新川でも三浦等六がカ
シワの皮はぎや線路の枕木を搬出
するようになる。と人夫や馬車追
いを使うようになり、新川は豆腐屋
ができるほどにぎやかになった。そ
の子弟の教育のために学校は創立
された。

三浦等六の牧場内にあつた農家
を仮教室にして、大正元年十一月
六日から授業が始められた。教室
の真ん中に炉があつてまきをくべ
ての授業だったので、寒いしけむ
くて授業にならなかつたという。

「閉校記念誌」六十五年の歩
み」によれば、明治四十五年
に至り、戸数僅かに十戸にして学
校開設の余力なく、児童は統内教
育所あるいは利別、幕別の学校に
通学したが、どの学校も遠く、秋
冬は道が悪く永く欠席するのもし
むをえなかつた……大正元年十一
月六日、校名を「三の小屋特別教
授場」として開設、当時の児童数

六名」とある。
棚さんの話によれば、小さい頃
キモント沼でタニシやカラス貝
を取つたり、フナをつつたり、ベ
カンベ(菱の実)を取つて煮たり
焼いたりして食べたのがとてもお
いしかったという。このキモント
沼は十勝川の改修でなくなつて
しまった。改修で新しい川になつ
たので地名を「新川」と改称した
のが昭和十四年。このとき校名の
改称はおこなわれず、新川小学校
になつたのは新川地区が池田から
幕別に編入後のことである。
(取材・岩田繁行)



新築記念写真

産業まつり——ことしは10月3日(日)

ふるさと館で同時開催

しらかばは大学祭

昨年はドボルザークの新世界、そして一年、超オールド楽団はサンバに挑む。

特別展予告
写真で
見る
幕別昭和史
10月3日から

●大正元年(1912)……三の小屋特別
教授場で授業を開始。校舎は十五坪。
●大正二年(1913)……校舎十六坪を新
築し校名を利別尋常高等小学校上統内特
別教授場と改称。●大正八年(1919)
……児童数の増加により独自の青年会館を
買取移設し二十坪のむぎ校舎に改築。
●昭和五年(1930)……五十坪の校舎
を新築。●昭和十一年(1936)……上統
内尋常小学校として独立。●昭和二十二年
(1947)……統内(新川)を池田から
幕別に編入。同26年に六十八坪の校舎を
新築。児童数は同36年の六十名をピーク
に減少、同53年に幕別小学校に統合。六
十五年間の卒業生は三百一名。